

東日本大震災では、津波により太平洋岸の広範囲の海岸林に甚大な被害が生じました。

これら海岸林は、古くから、飛砂防備や防風、潮害防備などの効果を発揮してきており、今回の津波に対しても、海岸林が津波の勢いを和らげ、漂流物を捕捉するなどの一定の効果が確認されています。また、海岸林の多くは、地域の生活に密接に関わりながら、地域の方々により維持管理されてきました。

今回の震災を契機として、海岸林の重要性を再認識し、その機能の再生のあり方について考えるシンポジウムを開催します。



◆お問合せ
林野庁治山課(担当 益田、湯浅)
電話 03-6744-2309
FAX 03-3503-6499

◆お申込み
氏名、所属、人数、連絡先(メール/電話/FAXのいずれか)を下記までご連絡下さい。
国際森林年国内委員会事務局
メール kaiganrin@nousanson.jp
FAX 03-5477-2609

◆会場：木材会館(江東区新木場1-18-8)
新木場駅 徒歩2分(JR/有楽町線/りんかい線)

海岸林を考える

東日本大震災からの復旧・復興に向けて

国際森林年記念シンポジウム



平成23年6月22日(水)

13:30~16:15(受付開始13:00)

木材会館 定員300名
参加費無料

話題提供

- ・海岸林のはたらき
吉崎真司(東京都市大学教授、日本海岸林学会副会長)
- ・津波による海岸林の被害と評価
坂本知己((独)森林総合研究所気象害・防災林研究室長)
- ・被災地からの報告~高田松原での取組~
佐々木松男(高田松原を守る会)
- ・庄内海岸林の保全活動
三沢英一(万里の松原に親しむ会会長)
- ・海岸林の再生に向けて
井上晋(林野庁治山課山地災害対策室長)

パネルディスカッション

- ・コーディネーター
林田光祐(山形大学教授、日本海岸林学会副会長)
- ・パネリスト
太田猛彦(東京大学名誉教授)
吉崎真司 坂本知己 佐々木松男
三沢英一 井上晋

主催：日本海岸林学会
共催：農林水産省、国際森林年国内委員会事務局
後援：日本森林学会、(社)砂防学会、日本緑化工学会、日本砂丘学会
(独)森林総合研究所、(社)日本治山治水協会、(社)国土緑化推進機構
(財)日本緑化センター

